

福井工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	現代英語	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	環境システム工学専攻		対象学年		専1		
開設期	通年		週時間数		前期:2 後期:2		
教科書/教材	"English for Information Technology"						
担当教員	ウィリアム・エドワード・ウィルキ,原口 治						
到達目標							
1) 理数系、工学系に関する語彙を習得し、理数系、工学系の簡単な英文を読んで理解できる。 2) 身近な話題や日本文化について英語で説明することができる 3) 英語プレゼンテーション (2年次実施予定) 発表原稿を完成させる。https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/Dashboard							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		学習した理数系、工学系の語彙や表現のほとんどを英訳、日本語訳がほぼできる。		学習した理数系、工学系の語彙や表現の半分程度、英訳、日本語訳がほぼできる。		学習した理数系、工学系の語彙や表現の英訳、日本語訳がほぼできるようになる必要がある。	
評価項目2		学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、英文の和訳、表出ができる。		学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、誤りを含みながらも英文の和訳、表出ができる。		学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、誤りを含みながらも英文の和訳、表出ができるようになる必要がある。	
評価項目3		身近な話題や日本文化についてまとまった内容で表現することができる。		身近な話題や日本文化について何とか表現することができる。		身近な話題や日本文化についてまとまった内容で表現することができるようになる必要がある。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE JC1							
教育方法等							
概要		1) 理数系、工学系に関する語彙を習得し、理数系、工学系の簡単な英文を読んで理解できる 2) 身近な話題や日本文化について英語で説明することができる					
授業の進め方・方法		授業は原則 1) と 2) の2部構成とし、定期的に 3) を取り入れながら進める。 1) 理数系、工学系の内容を扱ったテキストを使用し、スピーキング、リスニングを中心に関連する語彙の習得を目指す。 2) リーディング、スピーキングに取り組みながら身近な内容を簡単な英語で表出する練習を課す。 3) 定期的にTOEIC試験や工業英語検定等の資格試験を体験する機会をもつ。					
注意点		評価基準：専門分野の英語プレゼンテーション (ライティング、スピーキング、スライド作成他) 基礎的能力とネイティブスピーカーとの英語運用の基礎能力を有しているかどうか。 評価方法：定期試験 (50パーセント) + 英語プレゼンテーション (50パーセント)					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction, Unit 1Introducing yourself and others		エンジニアとしての自分自身の履歴等 (自己紹介) について英語で説明することができる。		
		2週	Describing your job		エンジニアとしての自分自身の専門分野等について英語で説明することができる。		
		3週	Describing computer hardware		情報工学の一般的内容 (ハードウェア) を英語で理解することができる。		
		4週	Describing computer software		情報工学の一般的内容 (ソフトウェア) を英語で理解することができる。		
		5週	Talking about websites		情報工学の一般的内容 (インターネット) を英語で理解することができる。		
		6週	Developing a website		エンジニアとして情報工学の一般的内容 (ウェブサイト) を英語で理解することができる。		
		7週	Understanding database products		エンジニアとして情報工学の一般的内容 (ハードウェア) を英語で理解することができる。		
		8週	前期中間まとめ		第1から7週の復習。英語プレゼンテーションの原稿作成確認作業。		
	2ndQ	9週	Talking about security		情報社会の重要事項 (セキュリティ) を英語で理解することができる。		
		10週	Explaining e-commerce types		情報社会の重要事項 (ネット通販) を英語で理解することができる。		
		11週	Explaining networks		エンジニアとして情報工学の一般的内容 (ネットワーク) を英語で理解することができる。		
		12週	Talking about network capabilities		情報社会の重要事項 (ネットワーク機能) を英語で理解することができる。		
		13週	A preparation for English presentation (I)		英語プレゼンテーション原稿作成に必要な「英語表現」の習得 (動詞)。		
		14週	A preparation for English presentation (II)		英語プレゼンテーション原稿作成に必要な「英語表現」の習得 (名詞)。		
		15週	前期末試験返却		前期末試験解説。nit 1-8 の復習。英語プレゼンテーション第1稿提出		
		16週					

後期	3rdQ	1週	Using Web sites in English	情報社会の重要スキル（ウェブサイト）を英語で 使用することができる。
		2週	Using numbers in English	テクニカルイングリッシュの基本的な数量表現を英語 で理解することができる。
		3週	Using an instruction manual in English	エンジニアとして一般的な取り扱い説明書を英語で理 解することができる。
		4週	Using email in English	情報社会の重要スキル（eメール）を英語で使用す ることができる。
		5週	Describing components	エンジニアとして部品の一般的な内容を英語で理解す ることができる。
		6週	Describing a product	エンジニアとして製品の一般的な内容を英語で理解す ることができる。
		7週	Using instruction manual	エンジニアとして一般的な取り扱い説明書を英語で説 明することができる。
		8週	後期中間まとめ	Unit 1-4 復習
	4thQ	9週	Explaining how cooling systems work	エンジニアとして冷却装置の一般的な内容を英語で理 解することができる。
		10週	Giving a demonstration	英語プレゼンテーション原稿作成に必要な「英語表現 」の習得（説得力のスキル）。
		11週	Using a specifications chart	英語プレゼンテーション原稿作成に必要な「英語表現 」の習得（チャート）。
		12週	Reporting damage	エンジニアとして製品欠陥の一般的な内容を英語で理 解することができる。
		13週	Using a flow chart	エンジニアとしてフローチャートの一般的な内容を英語 で理解することができる。
		14週	10Using safety signs	エンジニアとして安全装置の一般的な内容を英語で理 解することができる。
		15週	既習事項の総復習	既習事項の総復習及び英語プレゼンテーション原稿完 成。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	定期試験	課題		合計	
総合評価割合	50	50	0	100	
基礎的能力	50	50	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	